

帝塚山学院大学における主な教学 IR の取り組みについて

【教学 IR を担当する組織・部局の概要】

本学では、事務組織としては IR 専門職が所属する教学企画センター（企画課・教学課）を中心に、総務部 ICT 課と連携をとりながら教学 IR 活動に取り組んでいる。また、会議体としても「データに基づく教育活動の検証と改善・更新に関する事項」を役割の一つとする「教学委員会」及びそのもとに設置されている「教学開発 WG」にて、教学 IR の取り組みを教職一体となって実行している。

【主な取り組み】

日常的な教学に係るデータの収集・分析に加え、「アセスメント・プラン」に基づくアセスメント活動への寄与を大きなミッションとしている。「アセスメント・プラン」に基づくアセスメントの報告は、学長を議長とする「大学評議会」に報告を行うこととし、アセスメント報告の結果を速やかに意思決定に繋げることができる体制を敷いている。IR 担当は専門的知見を活用し、必要に応じてこのアセスメント報告を行うためのデータの提供や分析、また提言を行っている。

【改善実績】

2021 年度は大きな取り組みとして、大学 IR コンソーシアムのアンケートを実施・分析し、他本学の強みと弱みを明らかにし、またそのための改善方策の検討・報告を行った。調査・分析の結果、弱みとして「授業外での学修時間が少ない」ということが明らかになり、これを改善する方案の一つとして CAP 制度の厳格化を検討することが「大学評議会」の場でも確認され、その後の議論を経て、2022 年度入学生より CAP 制度の厳格化を実行した。